

洗足学園中学校 入試問題説明会

国語科 問題解説

ごあいさつ

ここに掲載しました解説は平成29年度入学試験の内容を踏まえた説明です。ご参考にしていただければ幸甚に存じます。

国語試験が目指すもの

洗足学園の国語科は入試問題を入学後に必要な国語の能力を身につけるきっかけと位置づけています。

本校の国語科が目指している「国語の力」を4点に分けて説明すると、

- 1、筆者の意見を正確に読みとる力（読解力）
- 2、筋道を立てて考える力（論理的思考力）
- 3、適切な言葉遣いで話したり、文章を書いたりする力（発信力）
- 4、正しい漢字や慣用句などを使う力（語彙力）

これらを学ぶ基礎を、入試を通して身につけていただきたいのです。

試験の概要

来年度の国語の入学試験の出題傾向はここ数年のものと変わりません。

すなわち、大問が2問です。1問目は説明文から、2問目は物語文からの出題です。

それぞれの問題には8問程度の設問があります。

それぞれの問題の中には3題程度の記述問題があり、2～3行程度の文でまとめることを求めます。

また、この中に漢字の問題や、慣用句などの語句の知識問題が含まれています。

解答の前に

国語の解答の前提となる事項をまとめます。

まず、文字は丁寧に書いてください。「漢字の書き取り」問題は特に一画ずつはっきりと書いてください。

次に、字数が指定されている記述問題は句読点を字数に含めるのかどうかを確認してください。

行数で指定されている記述問題は、解答用紙の一行に一行ずつ書いてください。一行に書く文字の数に決まりはありませんが、25～30字程度書くことを前提にしています。

記述問題について

記述問題の答え方についてはさらに以下の3点にも気をつけてください。

- 1、答えに必要な内容が書かれているかを確認してください。
- 2、書き終わったら読みなおして自然な日本語になっているかを確認してください。いわゆる「てにをは」の使い方が曖昧だと意味がわかりにくくなります。本文を継ぎ接ぎするのではなく、自然な文にしましょう。
- 3、設問で問われていることに対してふさわしい答え方（形）になっているかにも注意してください。

今回の問題解説

今回は齋藤孝「人はなぜ学ばなくてはならないのか」からの出題です。これはこのタイトルの著書のまえがきに当たる部分です。本校が出題する説明文としては標準的な内容です。本番の試験の分量もこの程度かもう少し長い程度です。文中、小学校では習わない漢字には「よみがな」をつけます。また、読み解く上で必要なやや難しいことばには★印で注をつけています。

問一

選択式の問題です。この種の問題では選択肢の中で本文の内容に合わない部分に印をつけていくと時間の節約になります。また、たとえ内容的に合っていると想像できても、本文に書かれていないことを含む選択肢は選んではいけません。

今回の場合、「腰を落ち着けて学ぶ」ことが何かを考えることになります。「腰を落ち着ける」という慣用的な表現の意味を知っていると正解はすぐに探せるでしょうが、知らなくても、「そうした本を読むこと」（11行目）がその内容であることがわかります。ここでいう本は「文学や哲学、芸術、科学」などの「日常生活や仕事を離れた分野の本」です。よってエが正解です。

問二

2行で答える記述式問題です。まず、設問では「これを学ぶことによってどのようなことができる」と述べられていますか。」と問われていますので、解答は「…こと（ができる）。」という形で答えることが求められています。

解答は前後の文の流れにそって考えましょう。傍線が引かれた「生きる呼吸を深くする学び」をすることによって得られることは直後の27行目から始まる段落に述べられています。この段落の結論は「学んで新しい知識などを吸収することによって、自分が生まれ変わる」（29行目）ことです。

さらに「そして」（35行目）をはさんで、もう一つの得られることが述べられます。「いま抱えている悩みや不安」を「相対的に小さくすることができる。」（37行目）ということです。この2点をまとめます。

問二の解答例

本校の記述問題は加点方式で採点します。この問題の加点要素は、「新しい知識の吸収で生まれ変わる」ということと、「悩みを相対的に小さくする」という内容を書くこと。さらに、「…こと（ができる）。」とまとめることなどです。

（解答例1） 学んで新しい知識などを吸収することによって、自分が生まれ変わり、自分が少しずつ入れ替わり再生すること。

この場合は、「生まれ変わる」という要素はありますが、「悩みを小さくする」の要素がありませんので、その分の加点がありません。

（解答例2） 新しい知識を吸収して自分が少しずつ変わり、悩みや不安が小さくなっていくから。

この例の場合は「自分が生まれ変わる」と「悩みを小さくする」の要素はあるのですが、解答の末尾が「から」となっています。「から」止めは「なぜ」と問われた時（原因・理由を答える場合）の答え方ですのでここでは不適當です。

問三

空欄（3）はストレスの原因になると述べられています。言い換えるならばストレスの原因をつくるのが（3）です。これは51行目から始まる段落で「遠くの偉大な他者」と対比される「身近な他者」であることとなります。

この問題は時数指定の抜き出しです。指定の字数と違ったり、誤字があったりする場合は無得点になります。

問四

この問題で問われているのは「どのようなことをすればよいと述べていますか」です。よって答えの型は「（を）すること」「をすればよい」が基本になります。

「世の中の小さなことに対して落ち着いて対処できるようになる」ためにすることは何かを考えることとなります。これは同じ段落にある「彼らの言葉を適宜引用できるまで学ぶ」（54行目）ことです。

ただこれをそのまま抜き書きすると、「彼ら」が誰だかわかりません。解答の文中の指示語はその内容を明らかにする必要があります。

問四の解答例

（解答例3）彼らの言葉を適宜引用できるまで学ばばよい。

本文をほぼ引用しただけの解答です。先ほど説明したように、「彼ら」とは誰のことなのかがこれではわかりません。ここはソクラテスやゲーテなど偉人です。その置き換えができれば加点要素がそろいます。

問五

「学んでいることが周りに評価され、自分の人生が好転する」の「具体例」として筆者があげていることを探して答える問題です。

ここでいう「具体例」は詳しく述べていることというよりは、実際に起こること、起こるかもしれないことの意味でとらえるとよいでしょう。

すると「周りに評価されること」と「人生が好転すること」の具体例を述べている部分を探すこととなります。

問五の解答例

(解答例4) 学ぶことにより、生きる姿勢が前向きになり、その人の雰囲気にも明るさが出てくること。

この例では「周囲から評価される」ことの説明がありません。また「雰囲気にも明るさが出る」ことは「人生の好転」の例として不十分です。よってこの解答例には加点要素がありません。

(解答例5) ポジティブな人から声がかかりやすくなり、チャンスが得やすくなること。

それに対してこの解答例では「ポジティブな人から声がかかる」が「評価」のことを、「チャンスが得やすくなる」が「人生の好転」のことを意味すると考えられることから、加点要素がそろった答案ということになります。

問六

つなぎ言葉を選択肢から選ぶ問題です。本校のこの手の設問は問題数と選択肢の数が同じであり、慌てずに考えれば難しくはありません。

問七

漢字の書き取り問題です。小学校で習う漢字の中から出題します。

一画ずつ丁寧に書いてください。

問八

本文の内容に合うものを選ぶ問題です。本文に書かれていることを基準にして考えます。逆に、書かれていないことが含まれる選択肢は選ばないでください。

アは「文学や哲学、芸術、科学など」を「すぐに役立つ知識」としている点が間違いです。ウは新しい知識の量を重視していることが文中の内容に合いません。エは「なるべく多くの古い本を読んだ方がいい」とは文中では述べられていません。見返りを求める勉強に対する批判を述べたイが正解です。

皆さんの受験をお待ちしています

受験は皆さんにとって大変なことであると思います。

ただ、いま皆さんがやっている勉強はこの後必ず何かの役に立ちます。

ぜひ、洗足学園の生徒になってその成果を生かしてほしいと思います。